

## 平成 27 年度 第 2 回二宮町環境審議会 議事録

日 時：平成 27 年 11 月 20 日（金）午後 2 時～4 時 10 分

場 所：二宮町役場 第一会議室

出席者：藤田会長 / 高瀬副会長 / 亀井委員 / 岡田委員 / 古澤委員 / 峯尾委員 / 土谷委員  
久保田委員 / 長谷川委員

事務局：筑紫町民生活部長 / 小島生活環境課長 / 須田班長

### 1. 開会

### 2. 挨拶（会長）

本日は次第のとおり、最初に「平成 26 年度二宮町第 2 次環境基本計画実施計画の進捗状況」についてをご審議いただきます。実施計画の進捗状況に対する環境審議会の意見のとりまとめについて皆さまにお諮りしますので、積極的なご意見をお願いします。その後、「二宮町第 2 次環境基本計画実施計画[中期]」についてご審議いただきますが、二宮町第 2 次環境基本計画の基本理念は、「のこしたい・つたえていきたい・ふるさとを～里山・里地・里川・里海と暮らすまち にのみや～」です。この基本理念を念頭に置きながらご審議いただければと思います。

～議題に入る前に第 1 回二宮町環境審議会議事録の確認～

### 3. 議題

#### (1) 「平成 26 年度二宮町第 2 次環境基本計画実施計画の進捗状況」について

～事務局から資料 1～

#### 【質問・意見】

会 長：ただ今説明された点について、ご意見ご質問があればお願いします。

委 員：41 ページの 5. 「低炭素社会の形成について」③「公共交通の利用転換の促進」には 10 年後、20 年後を見据えた計画とありますが、もっと先（50 年後）を見据えてもよいと思います。

委 員：長期目標として設定することはよいと思いますが、施策として 20 年先までを見据えるのは難しいと思いますので、10 年でよいと思います。

委 員：長期目標、ビジョンを持って実施するという意味もありますので、このままでよいと思います。

委 員：事業間・地域間連携の取り組みについて、第 1 回審議会でも実施計画[中期]で取り組む必要があるとの意見がありましたので、41 ページの 6. 「計画の推進方策について」で③を追加して記載していただきたいと思います。

会 長：6.「計画の推進方策について」で事業間・地域間連携等について記載するようにします。修正内容については会長一任でご了解いただければと思います。

## (2)「二宮町第2次環境基本計画実施計画[中期]」について

～事務局から「二宮町第2次環境基本計画実施計画[中期]について」～

### 【質問・意見】

会 長：「二宮町第2次環境基本計画実施計画[中期]について」ですが3.「計画の策定について」(3) 主な変更点①「低炭素社会の形成を強化」とあります。委員から中期では施策のスリム化と重点事業を策定するという意見がありますが、地球温暖化対策実行計画策定の検討が重点、また、②「事業実施する際の視点追加」も重点化ということで捉えることができると思いますが、皆さまはいかがでしょうか。

委 員：地球温暖化対策実行計画は、今まで自然エネルギーに関する情報の収集と提供で終わっていたことから具体的な方策を立てていくようなイメージでいいですか。

事務局：はい。

会 長：②「事業実施する際の視点追加」についてですが、環境基本計画の基本理念として、「のこしたい・つたえていきたい・ふるさとを～里山・里地・里川・里海と暮らすまち へのみや～」とあります。計画が縦割りになっていますので、「計画的な里山・里地・里川・里海の保全再生」を追加したらどうかと考えています。その辺で皆さんの意見をいただければと思います。

委 員：里山でイベントを実施する場合、水道、トイレの整備が必要になります。生物多様性の中だけで達成することは難しいと思いますので、それぞれの組織の中で横断的な取り組みが必要だと思います。

委 員：②「事業実施する際の視点追加」というのは、前期でも色々な視点があった中で、さらに追加するものですか。

事務局：前期を進めていく中で環境審議会からのご指摘を受け、計画実施にあたって、その都度改善するように努めてきましたが、中期では、計画に明記し推進していくものです。

委 員：減災対策は、環境ではなく別の分野かと思いましたが、中期においては減災対策の視点も取り入れて進めていくということですね。

会 長：ゲリラ豪雨による河川の氾濫などは気候変動との関連がありますので、減災対策の視点を取り入れる必要があると思います。

委 員：減災対策と記載すると別の分野になるかもしれませんが、基本理念が里山・里地などを残すことなので、減災という視点は必要だと思います。

委 員：これまでの審議会から出た意見を視点として追加されているので、このままでよいと思います。

委 員：中期に向かって取り組んでいく視点と減災対策は異なると思います。減災対策は

中期で重要視していくことになると思いますので、別の枠組みにした方がよいと思います。

委員：グリーン・インフラストラクチャー、生ごみリサイクルチェーンの形成促進、地域間・事業間連携は前期を踏まえて必然として実施するべき項目に対して、減災対策は違った視点になると思います。項目名を②「事業実施する際の視点追加」から「事業実施する際の重点課題・追加項目」に変更して、減災対策については、よく中身を練ればよいと思います。

会長：②「事業実施する際の視点追加」については、ペンディングで置いときまして、最後に取りまとめ方を審議したいと思います。

それでは、二宮町環境基本計画実施計画[中期]取組・事業案について事務局より説明をお願いします。

～事務局から資料2を説明～

委員：1-1.②吾妻山の新たな整備事業の実施については、新たな整備がないので中期からはずすということですが、高齢者や障がい者の方が登れるような施策などは、どのように評価していくのですか。

事務局：1-1.①公園等管理運営事業・公園等維持整備事業で評価します。

委員：グリーン・インフラストラクチャーの視点を入れるということですが、1-2.⑤緑の基本計画の推進を解体して、それぞれの別の項目で評価することは後退することになると思います。

委員：緑の基本計画の推進を削除するのは環境基本計画を推進するうえで、問題があると思いますので、別の項目で評価するのではなく、緑の基本計画の推進に統合して評価した方がよいと思います。

委員：1-3.⑧葛川改修計画（県）を中期の事業からはずして、1-3.⑦葛川の再生に向けた広域的対策に統合するのは弱いと思います。葛川は二宮町のメインの川ですので、中期でもしっかりと実施していく必要があると思います。

委員：葛川改修計画（県）については、県の事業ですので、町としてコントロールできるものではないですが、中期に残しておいて、県に優先して実施してもらうようプレッシャーをかけるということもできると思います。

委員：中期に残すのもよいですが、町でコントロールできないものを要望するだけの評価ではよくないと思います。目標値を工夫しないといけないと思います。

事務局：前期の目標値は要望数です。

会長：葛川サミットとして要望することもできると思います。葛川改修計画（県）については残す方向でよいと思います。

1-1.①公園等管理運営事業・公園等維持整備事業においては、観光とのバランスをとることといった意見が出ていますので、事業内容に記載した方がよいと思いま

す。

1-3.①公共下水道整備事業においては、財源の確保が課題になっていますが、中期では財源の確保に努めるといった内容を事業内容に入れてもよいと思います。

このように備考欄に記載してある内容は環境審議会からの意見を踏まえたものになっていますので、事業内容に反映していただいた方がよいと思いますが、事務局としてはいかがですか。

事務局：事業内容に反映させていただいている事業もあります。細かい部分については、評価シートに記載させていただき、担当課においては評価シートに基づき、事業実施、評価をしていただきたいと思います。

委員：目標値の見直しについて3年間Aの評価もあります。中期もそのまま実施すると次の目標がありません。新たな目標など見直しをお願いします。ステップアップしていく必要がありますので、ご検討ください。

委員：2-2.③生ごみ堆肥化容器購入補助金は、家庭用だけを対象にすると限界があると思います。家庭の生ごみからできた肥料を使う場合、品質を保証する必要があります。もう少し規模の大きい所で具体的に考えていかないと発展性が無いと思います。規模が大きい、例えば学校やレストランに大型生ごみ処理機などを設置して品質の良い肥料を作って循環させる計画を策定する。ごみも平塚市、大磯町との広域処理が始まりましたので、市町が連携して取り組むことなども検討し、循環型社会の実現という項目で何か一つ大きな事業として結果を残したいです。

事務局：給食センターに大型生ごみ処理機を設置しています。前期では評価の中に入っていないので、中期ではその辺も踏まえたいと思います。

委員：事業所の生ごみも含めて総合的に考える必要があると思います。

会長：1-2.③ふれあい農園事業、2-1.②水分もうひとしぼり運動などとの連携も必要です。生ごみのリサイクルチェーンを事業として位置付けるのが難しいので、重点的な考えとして生ごみリサイクルチェーンの促進を重点課題とし、毎年の事業評価で議論していただくのがよいと思います。

委員：生ごみのリサイクルについては、フランチャイズ店などを調査して、町が直接リサイクルしているものではありませんがそのような企業の取組みを評価として記載してもよいのかなと思います。

会長：ある程度の企業は食品リサイクルに取り組んでいると思いますので事業者との連携について記載してもよいと思います。

委員：あまり大きな企業がないことから二宮町内では難しいと思います。

会長：具体策としては学校給食センターでもよいと思います。

委員：2-3.②ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）ですが、Bの評価が継続しています。どうしてですか。

事務局：目標値が配布枚数160枚となっているためです。

委員：このままだと、いつまでたってもBのままですね。

事務局：もっと違った目標を設定して、それに対してどのような成果が出たのかを目標にした方がよいと思うのですが。

委員：相談・対応件数を目標値とする提案もありましたよね。

事務局：ご意見をいただき検討しましたが、カラス被害は電話等で随時相談があります。対策案を町から相談者にご提示しますが、対策案を講じた結果を相談者に求めることは難しいと考えています。そこで数値目標は変更せず、カラスネットの設置に関して新規設置と更新の件数を分けて評価するように変更しました。

委員：基本施策 3-2 自然エネルギーの活用については、情報提供や情報収集などを進めてきました。中期の事業内容を見ると情報提供から脱皮していないので、啓発の仕方を工夫していく必要があると思います。例えば今まで助成という形で促進を図ってきたと思いますが、実際設置してみてどうだったかなどのアンケートをとっていただいて、実践的なメリットを紹介することもよいと思います。3-3.①建築物の緑化の推進についても、公共施設だけではなくグリーンカーテンを実践しているご家庭に話を聞いて紹介したり、緑のカーテンのコンテストを実施したりするのもよいと思います。中期では、そのことも織り交ぜながら検討をお願いします。

委員：地球温暖化防止のためだけでなく、高齢化により車に乗らない人が増えてくると思います。その中で電動自転車をもっと普及させるため、補助金などの検討はできないでしょうか。

委員：以前、駅から百合が丘まで乗って、そこにある自転車ステーションに乗り捨てる。それを次に百合が丘から駅に向かう人が乗って行くことなどができたらよいという話をしたことがありましたが、やはり財源の確保が難しいということで終了しました。

町で様々な計画を策定していますが町民は知りません。参加してくださいというのは大変なので、気がつくと参加していたみたいなの仕掛けをどこかに入れられるとよいと思います。環境のことに熱心な方は、自分はこんなにやっているということをお願いするものなので、情報は出してくれると思います。

会長：電動自転車については、3-1.⑤歩行者や自転車が安全に楽しく利用できるシステムづくり（ベンチ、バリアフリーの推進）または 3-1.⑥環境負荷の少ない交通の利用促進で記載できるか検討してください。

委員：広報で電動自転車はこんなに楽ですよとか太陽光発電はこんなにメリットがありますとかのコラムなんかがあるとちょっと普及するのではないのでしょうか。

委員：3-1.①地球温暖化対策実行計画の策定については、どこの自治体も環境基本計画と重複し苦労されているようです。策定手法は色々ありますので、整理されてから策定した方がよいと思います。

委員：3-1.①地球温暖化対策実行計画の策定は、4-1.①に環境基本計画の推進があり、低

炭素だけでなく広い視野が必要になると思いますので、3つの基本目標に共通する取り組みとして位置付けられている4.計画の推進方策に位置付けることはできないでしょうか。

会 長：これまでの流れから考えますと前期を継承するかたちで、基本施策の3-1省資源・省エネルギー活動の促進と3-2自然エネルギーの活用を統合し、基本目標3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまちに位置付けて置くのがよいと思います。

他にご意見はございますか。もしよろしければ、先ほどペンディングした二宮町第2次環境基本計画実施計画[中期]についての3.計画の策定についてですが、私の意見をまとめましたので私の案を紹介したいと思います。(3) 主な変更点を重点課題に変更します。①「低炭素社会の形成を強化」を「低炭素社会の形成強化」にし、文章も再考します。②には、「事業間・地域間連携の推進」としまして、文章化して「次の事業などを中心に事業間・地域間連携を図り、相乗効果が発揮されるように取り組むこととします。」として、最初に計画的な里山保全・再生関連施策の連携促進を位置づけます。その次に生ごみリサイクルチェーン（生産・流通・消費・廃棄・再資源化）の形成促進、多様なグリーンインフラストラクチャーの整備促進、気候変動の影響等を踏まえた防災・減災事業との連携促進にすれば、落ち着くのかと思います。その方向でよろしければ事務局に文言を検討していただきたいと思いますが、いかがですか。

委 員：結構です。

### (3) その他

～事務局から次回審議会開催予定を報告～

## 4. 閉会

以上